



学校だより

平成30年7月2日(月)
第775号
さいたま市立日進小学校
TEL: 663-6942

1 学期末を迎えるにあたって

校長 飯島 政範

例年より早い梅雨明けとなり、暑い日が続きます。体調管理に気を付け、楽しい夏休みが迎えられるようにして欲しいと思います。

さて、私が日進小学校の校長として着任してから、あっという間に3か月が過ぎました。この3か月は、日進小学校のことを早く知ろうと、いろいろな方とお会いし、お話をさせていただいたり、授業中クラス訪問して、子ども達の様子を見たりの3か月でした。そこで、私なりに感じたことを学校だより7月号に載せたいと思います。

1 防犯ボランティアの方をはじめ地域の方、保護者の協力に感謝しています。

本校の子ども達は朝、通学班登校ではなく個々に登校してきます。車の通りの多い道路や見通しの悪い交差点など多くある中、子ども達が大きな交通事故に遭うことなく登下校できるのは、防犯ボランティアの方々や交通指導員さん、そして保護者による横断歩道での旗振り活動などによるおかげです。ありがとうございます。

また、校外学習時(学校外での学習活動)は、1、2、3年生の地域の探検等では一緒に列に並んでいただき安全に気をつけていただいております。さらに、バスを使う学習では、バスの乗り降りをイオンさんの駐車場をお借りしていますが、その時の交通整理等も行っていただいております。本当に、子ども達の安全を第一に考えて活動している姿に感動するとともに感謝しています。さらに、4年生の自転車免許教室では地域の交通安全協会の皆様、同じくゲストティーチャーとして視聴覚障害の方の講話、6年生の茶道体験での地域の方等学習ボランティアさんにも支えられています。

2 進んであいさつのできる子ども達が多く、素直で子どもらしい面をたくさん持っています。

朝、子ども達の登校時、正門の前で立っていると「おはようございます」と自分からあいさつをしてくれる子どもたちが4月から比べると増えてきています。帰りは、「校長先生、さようなら」と言ってくれる子ども達が増えてきています。あいさつをされると気持ちがよくなり、心が温かくなります。一人でも多く、自分から進んで、あいさつのできる子どもが増えるといいなと思います。

3 人権について

先日、小・中・特別支援学校の校長を対象に、教育委員会主催の人権研修会が行われました。「見た目問題と人権教育の課題」という演題で講演を聞く機会がありました。講師の方は、幼少期「海綿状血管腫」という病気で海綿動物がプクプクと脹れるイメージで血管が腫れる難病にかかり、顔の右半分が腫れあがってしまい、人とは異なる容顔で理不尽ないじめにあっていました。

(現在は医学博士、蕨戸田市医師会看護専門学校講師をされております)幼稚園の時、匿名の電話がかかってきました。「〇〇さんのところの息子さんの顔が膨らんでいます、あの赤いふくらみはうつる病気ではないのですか。子ども達と一緒に教室に入れさせて大丈夫なのですか」と。もちろん海綿状血管腫はうつる病気でもなければ、遺伝する病気でもありません。様々ないじめや差別体験をしながら「差別やいじめ」をなくすには、「思いやる気持ち」がとても大切なことと言っておりました。私たちはいろいろなハンデを持った方とともに暮らしています。この講演を聞き、本校の子ども達にも「思いやる気持ち」を育てていかなければならないと感じました。

4 いじめ撲滅強化月間は終わりますが、引き続き、いじめを許さない学校づくりを進めます。

6月は「いじめ撲滅強化月間」として、「広げよう相手を思う心の輪」というスローガンを児童会が考え、各クラスでの標語づくり、中学生との合同あいさつ運動など相手を思う心の輪づくりに取り組んできました。しかし、残念なことに、相手が嫌な思いをするような言葉を言ったりやったりの行為がありました。強化月間は終わりますが、引き続きいじめの無い学校づくりに努めてまいります。本日、PTAのご協力で家庭数で「ご家庭でできるいじめ対策ハンドブック」を配布いたします。ご家庭で活用していただけるとありがたいです。